



親馬から子馬まで、華やかな飾りつけをした鈴かけ馬が踊りを奉納します。

華やかな鈴かけ馬が踊る五穀豊穡などを祈る祭り「シャンシャンシャン」と、華やかな鈴の音を響かせながら、首や胸に色鮮やかな飾りや鈴をあしらった20数頭の奉納馬が、いち早く春の訪れを告げます。

鹿兒島神宮の「初午祭」は、五穀豊穡・家内安全・畜産奨励・厄払い・商売繁盛を祈願する祭りとして約470年以上の歴史と伝統を誇ります。人馬一体となった全国的にもユニークな祭りで、毎年県内外から約10万人もの観客が訪れる鹿兒島を代表する伝統行事です。

祭りでは午前9時半ごろ、参道入口の保食神社で、御神馬と鈴かけ馬が順におはらいを受けた後、奉納馬として列をなし、境内の中央に設けられた丸太囲いの踊り場



鹿兒島神宮の境内は、訪れた多くの見物客でにぎわいます。

で、次々に鈴かけ馬踊りを披露していきます。鉦や太鼓、三味線の囃しに合わせて、引き手が馬の尻や胴を竹や笹でつつき、ステップを踏ませます。マンボのリズムにのって踊るユーモラスな姿に、観客からは笑い声や歓声が上がります。

郷土玩具のボンパチ(初鼓)や五色の布、旗を飾りたてた鈴かけ馬が、楽隊と鉢巻姿の約2千人もの踊り手を引き連れて太鼓や三味線の調べにあわせ、陽気に踊る華やかな様子は、この地域の早春の風物詩となっています。

【霧島市】

はつ  
うま  
さい  
初午祭

国指定無形民俗文化財

春の訪れを告げる  
鹿兒島神宮の伝統行事  
「初午祭」を  
ご紹介します。

### 祭りの舞台

## 鹿兒島神宮

開催日： 令和2年2月16日(日)

住所： 鹿兒島神宮境内及び参道  
(霧島市隼人町内2496-1)

駐車場： 約2300台(無料)

TEL： 0995-45-5111

(初午祭実行委員会事務局：霧島市観光課内)

